

題名：スタートの遅れからの逆転

所属：理工学部数学科

内定先：NTT コムウェア(株)

私の就職活動はサークルが12月までであったため、1月から始めるという他の就活生に比べ、非常に遅いスタートとなりました。始めたばかりのときは企業研究の仕方もわからず、それどころかエントリーシート  
の書き方もほとんどわからず焦りましたが、大学で開催してくれた学内企業説明会に参加し、周りはすでに  
に激化している就職活動の雰囲気ですんなりと身を置くことに成功しました。

いろいろな説明を聞いているうちに自分のやりたいことは何であるのかをしっかりと考えることができ、  
志望の企業も決まっていきました。当然企業の開催している説明会にも参加しましたが、説明会には参加  
すれば参加した分だけ、企業ごとの特徴もわかってきました。

そんな中で、流れに乗ってきた私が就職活動において工夫した点は、3点あり、

- 1、エントリーシートをたくさんの人に見てもらおう。
  - 2、企業のホームページにおいて投資者向けアニュアルレポートを読み、その企業の中長期的な目標を知り、その目標のために自分はどうか協力していけるのかを考えた。
  - 3、似たような企業があったらそれぞれ違いを研究する。
- ということです。

上記した1について、自分の書いた文章は自分には読みやすいと思っても、もしかしたら他人には非常に  
読みにくい可能性もあるので、誰にでも読みやすい文章を目指すためにいろいろな人に読んでもらうよう  
にしました。2、3については、企業の面接において「似たような企業があるけど、なんでうちの？」  
と聞かれることがあるので、志望するならしっかりと「なぜ他の会社ではなく、その会社なのか」「自分は  
入社した後こんなことができる」ということが言えることが非常に重要になってくるので、必ず企業研究  
をする際の方法としてそのようなことを意識して行っていました。

私は就職活動においてたとえ他の人より遅れていると感じても、焦るだけで終わらせず、自分のやりたい  
事をしっかりと見つめ直し、自分の中に軸として持って常に自分の将来に対してのモチベーションを高く  
保ち続けている事が大事だと思います。そうすることで企業研究に対するやる気も上がりますし、企業と  
関わる姿勢がよくなっていくと思います。